

[成果速報]

りんどう新品種「栃木 r 5 号」の育成

りんどうの新品種が 2026 年 3 月に出願公表となりました。本県育成のりんどうは 4 品種となり、りんどうのさらなるブランド力強化を図っていきます。

【育成経過】

当センターでは、りんどう新品種『栃木 r 5 号』を育成し、2025 年 12 月に品種登録出願を行い、2026 年 3 月に出願公表となりました。

本品種は、切り花品質の向上と安定生産を目的として選抜・育成した系統であり、鮮やかな花色と高い収量性を兼ね備えています。育成過程では、花色草姿、収量性に優れる個体を選抜し、特性調査を重ねて優良系統として育成しました。

【品種の特徴】

開花期は 6 月中旬～7 月中旬で、花色は鮮やかな紫色です。1 つの節に 3～4 個の花が着生するため、ボリューム感があり豪華な花姿が特徴です（写真 2）。また、樹勢が強く、切り花として収穫できる期間が約 5 年と長いため、本県育成品種「るりおとめ」（2011 年 9 月商標登録）の 3 年程度と比べて多収が期待できます。さらに、耐暑性に優れ、高温障害の発生が少ないことから、安定した生産が可能です。

これらの特徴により、本品種は切り花生産者の収益向上及び経営安定化への貢献が期待されます。

【今後の展開】

今後は、高品質安定生産技術の確立に取り組むとともに、生産者への普及を進めることで、県産りんどうのブランド力向上を図っていきます。

なお、新品種の販売開始は、名称の発表とあわせて 2027 年 6 月下旬頃を予定しています。



写真 1 「栃木 r 5 号」切り花全体



写真 2 花の拡大写真

（花き研究室 小森 美由紀）